

第3回名寄市総合計画審議会顛末

日時：平成30年6月5日（火） 18時30分～20時45分

場所：名寄市役所名寄庁舎4階 大会議室

1 開 会

中村総務部長開会

2 会長挨拶

定木会長挨拶

3 議 事

○欠席委員よりの質問・意見（定木会長代読）

- ① 駅を出るとさみしく感じる。駅前通りの整備やよろ一なの効果的な活用を考えて頂きたい。
- ② イベントの広報が足りないと思う。みんなが参加するようにならないか。
- ③ 市内の公共施設などを効果的に活かす方法を検討頂きたい。
- ④ 事業承継事業の評価に、地域金融機関が主体となる事業を加えて評価することは可能でしょうか。
- ⑤ 観光事業推進団体支援事業について、市民イベント＝観光協会主催のイベントと理解してよろしいでしょうか。また、観光事業とはどのような事業を想定していますか。

事務局

②③回答

名寄市には様々な公共施設や魅力的なイベントがあり、これらをまちの賑いづくりにつなげていけるよう、皆様からのご意見を伺いながら、観光協会などの各団体と連携し、より多くの人に楽しんで頂けるような周知の仕方や実施方法などにつき検討していきます。

行政の広報について言えば、たとえば、従来、5月のイベントの写真が6月広報の表紙になっていたのを、前年度の写真を使って、5月号に5月のイベントの写真が載るようにしたところ。また、広報が届いたときには月初めのイベントが終わっていたという声があったことを踏まえ、月の初旬のイベント予定については、前の月の広報に掲載することとしています。

引き続き、市民がイベント等に参加したくなるような紙面づくりを考えてまいります。

公共施設の配置については、本年から来年にかけて、都市マスタープラン・立地適正化計画を策定する中においても、コンパクトシティ&ネットワークの観点から議論していく予定です。

①回答

駅前交流プラザ「よろーな」は、バス待合所、観光案内所、貸し会議室など、市内外の多くの方々に利用いただいております。「よろーな」の指定管理者である、なよろ観光まちづくり協会では各種イベントなど賑わいづくりを行っていると共に、商店街と連携して、中心市街地の賑わいづくりに努めております。

④回答

経営者の高齢化、後継者不在など、事業所の減少は市民生活に直結する課題であり、名寄商工会議所では平成29年度に「事業承継支援室」を設立し、事業承継について調査を行っております。

地域金融機関において取り組んでいただいている事業承継についても、課題解決へ向けた取り組みと認識しており感謝するところ。しかし、この行政評価は、支援を含めた市の取り組みを個別事業として評価するものであり、民間の取り組みを、行政評価の事業として加える点についてなじまないと考えております。

⑤回答

名寄・風連の観光協会が中心となり、古くから地域の方に親しまれ参加いただいているイベントを開催しております。市民満足度を高めるイベントとなっており、他地域からの来場者は多くない現状です。

観光事業とは、夏のひまわり観光や、冬のスポーツなど、外から人を呼び込む（交流人口の拡大）取り組み、経済効果を生む事業と考えております。

(1) 事務事業評価について [資料1]

事務局 説明【資料1】

★資料1 評価方法、部会等について説明しました。

総務・建設部会	定木部会長	8名で8事業を評価
経済部会	田中部会長	9名で17事業（14調書）を評価
医療・福祉・教育部会	結城部会長	9名で9事業を評価

(2) 各部会報告

1次評価と異なる評価となったもの、特徴的なコメントなどが報告されました。評価（1次・WG・外部）例（A・B・A）

総務・建設部会

調書6 （A・B・B）高齢者向けの情報発信も検討頂きたい。

調書9 （A・B・A）受賞事業者から取組が評価された、職員のモチベーションの向上に役立っているとの声があることから、表彰制度は一定の効果があると考えられるので継続した取組をお願いしたい。

調書106 (A・B・B) 自主防災組織なので行政からの強制力はなく、町内会が自ら組織いただけるアプローチが大切である。防災組織を立ち上げた後の活動を見据えて、準備が整った町内会から随時進めて頂きたい。

経済部会

調書14 (A・B・A) 地元の応援団として都会でのPRや情報発信をしてもらえるようふるさと会を活用して欲しい。また、Uターンにつながるような活動になることを期待したい。

調書17 (B・C・B) 活動主体を民間団体に移す過渡期であり、必然的に進め方の改善は必要であり、成果が見える活動になるよう期待。

調書18 (C・C・C) 規模の縮小などはせず、継続的な取組を希望。先進地の事例なども参考にしながら進め方を検討してはどうか。

調書175 (C・C・B) 利用者ニーズに応える改善をしながら、事業を継続して欲しい。

調書189 (B・B・A) 経済の活性化のみならず、建設業技術者育成に必要な事業であり、人材育成には時間がかかることから長期的な視野に立って事業の継続を希望する。

医療・福祉・教育部会

調書34 (B・B・B) 市立大学看護学科との更なる連携を図り、看護師確保に向けた取組を進めて頂きたい。

調書55 (B・B・B) 社会福祉協議会の役割は重要であり、現行の補助金は維持して地域福祉の推進に向けた取組を進めて頂きたい。

調書58 (B・C・C) 施設入所は国・道から扶助費が支給されていることから見直しが必要である。

調書220 (B・C・C) 児童生徒の学力向上に向けて、原因・問題を分析・把握して戦略的に取組を進めて頂きたい。

調書272 (B・B・B) 隔年開催することで予算を集中するとともに、他の団体との共催も検討してはどうか。

4 その他

事務局 次回審議会日程報告(6月26日(火)18時30分から)

5 閉会

定木会長閉会

[会議資料]

資料1 行政評価について

行政評価調書 2次評価後にHPアップを行います。